

2021年
(令和3年)

CSR活動報告書

■ 従業員のために

1. 人材育成・教育（社内教育）

毎月1回若手技術者を対象に、技術顧問から構造力学・橋梁工学の基礎講座を実施しています。
2021年は、技術士取得(建設部門)、コンクリート製品検定(中級)に全社員、CSR検定3級に1名合格しました。

2. 人材育成・教育（外部研修）

今年は延べ119回(13回以上/人)、外部講習(オンラインセミナー含む)に参加しました。
取引先様(建設コンサルタント)が関わっている農業事業を社内研修としてご訪問させていただきました。
農業の魅力を活用した地域活性化について熱い想いを聞かせていただきました。

－社員からの声－

「私はPPP事業(官民連携事業)を知らなかったので、今回の機会で様々な効果があることがわかりました。」
「自分の仕事から未来のために何ができるのか、これからどうしていきたいのかを考え、常に行動を起こしていく姿に刺激を受けました。」

3. 社員の健康管理

社員とその家族の健康増進に取り組んでいます。
・健康宣言(全国健康保険協会) ・特定健康用食品の補助 ・KENCO SUPPORT PROGRAM(大同生命)への登録
・新型コロナウイルス感染予防対策(ワクチン接種案内、パルスオキシメーター・検査キットの配布等)

4. 認定企業

企業の成長と共に、人の成長を意識した事業活動が伝わり、2021年は下記の認定をいただきました。
●女性の活躍推進企業／名古屋市
●第4回WOMAN's VALUE AWAR 特別賞／(社)日本ウーマンズバリュートレーニング協会

5. SDGs宣言

SDGs宣言にあたり、知見を深めるため若手社員4名をSDGs推進員として選任いたしました。

－社員からの声－

「いつも使っている日用品はフェアトレード商品を購入することでSDGsに貢献するよう心掛けています。
街中のSDGsポスターにも気づけるようになり、さらにSDGsについて興味がわいてきたと同時に、
さらに勉強して知識をつけていきたいです。」

■ お客様のために

1. 技術研鑽への取り組み

お客様満足度の向上を通じて社会貢献することを念頭に置いて、日々研鑽を積み重ね、技術力の向上に努めています。
今年も取引先様と技術士試験合同勉強会を実施し、当社技術顧問と有資格者による講座・論文添削を実施し、「技術士」の資格取得支援を行いました。
建設現場や製作工場の見学・業務毎のOJTを実施し、社員の技術力向上に努めています。

Comment

弊社は「三方よし」の精神で、「お客様」はもちろん、「地域社会」「従業員」
から愛される経営を実現するために、CSR活動に力を入れています。

2021年に実施したCSR活動の一部をご報告いたします。



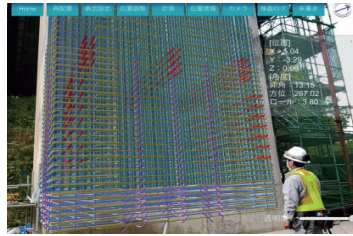
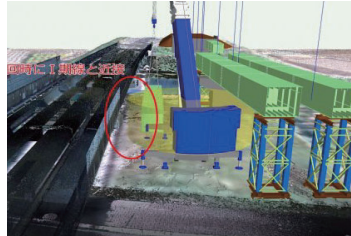
－社員からの声－

「技術士試験合同勉強会に参加し、試験に臨みました。指導員はじめ、社内外の皆様のご指導ご助言により、おかげさまで合格することができました。
他受験者の取り組みや着眼点も、よい気づきや刺激を受けました。」

2. BIM/CIM・XR関連事業の推進

BIM/CIMモデルを活用した施工管理や施工シミュレーションなど、幅広いシーンでのサービスを提供し、建設DX推進に取り組んでいます。

- XR技術(AR・MR・VR)を導入 →生産性向上や人材育成
- 3Dプリンターを導入 →建設業界の未来を見据えた取り組み



3. 鋼橋設計サービス

鋼橋分野の技術士を迎え入れ、鋼橋設計サービスをスタートしました。

－社員からの声－

「毎月、時間を割いていただき鋼橋についてのさまざまな角度からの勉強会を開催していただくようになり、興味や関心が高まりました。
仕事の幅が広げられるよう教えていただいたことを身に着け、業務の中で実践していきたいです。」

■ 地域社会のために

1. 絵本プログラムの参加

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会が毎年実施している絵本を届ける運動に参加しました。
読み書きができない、絵本を読んでもくれる人がいない子どもたちへ、絵本を手にする機会のお手伝いをしています。

－社員からの声－

「カンボジアやラオス、ミャンマーなど現地の言葉は知らない私たちですが、絵のような楽しそうなつづりの言語に
世界の広さや厳しい環境にいる子供たちの存在を改めて感じられたことは、私たちにとっても良い経験でした。」



2. インターンシップ（大学生）

芸術系学部を専攻している学生さんに、SDGsポスターや社外向けの案内紙を製作してもらいました。

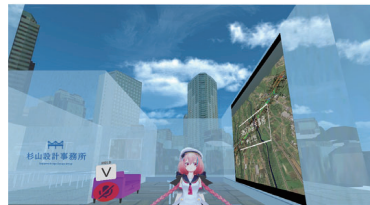
－学生からの声－

「自身のデザインの知識や技量が向上したのはもちろんですが、それ以上に、制作を通じて全く知らなかった
橋梁や土木の世界を垣間見たことが大きな経験になりました。」

情報工学部を専攻している学生さんに、VRのお手伝いをしてもらいました。

－学生からの声－

「とても貴重な機会でした。VR開発は可能性が無限大なので自分で想像を膨らませながらVRの世界を制作することができ、とても楽しんで取り組みました。まだまだ試行錯誤しながら頑張っていきたいと思います。
設計関係の業界は私が勉強している情報技術関係とは無縁なものだと思っていましたが、このようなかたちで触れることができてとても驚いています。まだまだ知らないことが多いので、VRと設計業界が組み合わせさってどのような世界が広がるのか楽しみです。」



3. ウィメンズマラソン2021ボランティア清掃に参加

清掃地区が自社の属している地域ということもありボランティアに参加しました。企業として初めての地域清掃でした。

4. フォーラム登壇

『「18歳成人×早活」で変わる日本の未来～早活イノベーションフォーラム2021』にパネリストとして登壇しました。
高卒就職についての問題点や、早活人材のメリットなどを様々な視点から議論しました。

－登壇した社員からの声－

「同世代の違う道を進まれた方々と、それぞれの感じたこと経験したことを共有出来とても貴重な機会だったと思います。
自分も就職の時に色々悩んだ経験があるので、問題提起として世の中に発信できたことは、
とても意味のあることだと感じています。」